

問四

約七割の答案に得点を与えた。平均得点は約六・二二点。満点の答案が四割近く存在した。採点のポイントは以下の通りである。

- A 「聞いたことのある表現を身につけるだけでなく」にあたる内容を含む答案に二点を与えた。
 ・「聞いたことのある表現を覚える」「周囲の(大人の)言葉を真似する」などにあたる内容があれば広く得点を認めた。
 ・「聞いたことのある表現は身につけず」「聞いたことのある表現だけを身につける」など、本文と食い違う内容の答案は、A要素の得点を認めず、本文誤読につき全体から二点減とした。
- B 「(ことばの)性質を類推し、その時点ですべて身につけたことばの規則を適応すること」にあたる内容を含む答案に四点を与えた。
 ・「性質を類推する」「規則を適応する」の一方が欠けている場合は二点のみ与えた。
 ・「その時点で身につけた」「既知の」「知っていた」などの内容が欠けている場合は減一点とした。
- C 「聞いたことがなくても、使える表現を何倍にも増やしている」にあたる内容を含む答案に四点を与えた。
 ・「聞いたことがなくても」「聞いたことのある表現以外にも」にあたる内容をCの必須要素とした。
 ・「何倍にも」の有無は不問とした。
 ・「増やしている」は「覚える」「身につける」などでも可とした。
- D 「表現」「ことば」「言葉」などはいずれを使用しても許容とした。ただし、「動詞」「活用」など、具体的な内容に限定するものは、原則二点減とした。
- E 全体として「過剰一般化」について説明する内容になっているものは、子どもがことばをただしく覚えられなかった場合についての説明であり、問の要求から外れるため、不可とした。
- F 文末は設問に対する答えとして大きく外れていない場合は広く許容した。
- G 誤字・脱字は一字につき減一点とした。
- H 文法上のミスは一箇所につき原則減一点とした。
- I 字数オーバーは一字につき減一点とした。

三 記述問題採点基準

問三

- A 「人間は多様である」にあたる表現を含むものに三点を与えた。
「制服の前身はさまざまである」「人間が全て同じであることはない」は二点。
B 「制服で外形を管理している」にあたる表現を含むものに三点を与えた。
C 「すべての人間の将来を同じ形にしようと計画しているように見える」にあたる表現を含むものに四点を与えた。
・ 「育つていくさきまで同じに見える」は可。「育つていくさま」「育ち方」は減二点。
☆ B・C要素のいずれにも「管理」「設計」「計画」を含んでいないものは減三点（B・C要素のいずれか一方に含まれていれば可）。
D 「杉山」「雑木林」などの比喩を用いて説明したものは減二点。
E AとC要素を含んでも、全体として誤っている答案には得点は与えていない。
F 文末「から」「ので」「ため」を欠くものは減一点。
G 誤字や脱字は一字につき減一点。
H 文の乱れについては、一か所につき減一点。ただし、文意が判然としないものには得点を与えていない。
I 文末の句点（。）を欠くものは減一点。
J 字数超過の答案は一字につき減一点。制限字数の半分に満たない答案には得点を与えていない。
K その他の表現上の不備は適宜減点した（二点と三点）。

四 記述問題採点基準

問四

正答率は、約一割。配点は、「いかで」を「どうやって」と訳せて二点、「過ぐ」を「暮らす」と訳せて二点、「らん」を「くだろう」と訳せて一点の計五点。